

第358号



# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員  
小松敏也 / 小原 望 / 山崎美佳 / 橋 匡廣  
井垣 歩 / 矢野美由紀 / 新田篤史 / 鳥居良貴

臨床検査情報センター  
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 《各部局報告》 ..... 1~2
- 2019年度 兵庫県臨床検査技師会リーダー育成研修会のご案内 ..... 3
- 《行事予定表》 ..... 4~5
- 《会員グルメ情報》・《お知らせ》・《求人情報》 ..... 6~7

## 各部局報告

### 学 術

「ベッドサイド実践講習会開催される」(9月14日・15日)

9月14日、15日の2日間神戸総合医療専門学校において2019年度日臨技、兵臨技主催「ベッドサイド実践講習会」が開催されました。この講習会は日臨技の「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」の後継事業として昨年度より各都道府県で開催されています。当日は兵庫県全域から会員17名の参加がありました。この会は検査業務以外の様々な職種の業務内容を講義と実技から学び体験することを目的としており、看護師、臨床工学技士、薬剤師、臨床検査技師の先生方から、コミュニケーションロールプレイやベッドサイド実習など幅広い指導を頂くことができました。また、自施設で経験した患者対応についてのアドバイスを頂くこともでき、臨床の現場、特に患者から必要とされる臨床検査技師について考えるととても良い機会となりました。

(文責：広報部)



竹内 一馬会員 (公立宍粟総合病院)

9月14日、15日と2日間にわたり「ベッドサイド実践講習会」に参加させていただきました。今まで生理機能検査を行う時に患者や家族への声掛けや検査説明、患者を車椅子からベッドへの移動、輸液ポンプのアラームなど、これでいいのかなと疑問に思いながら行っていたことを様々な職種の方に座学と実技を通して教えていただきました。特に患者や家族とのコミュニケーションの実技では参加者みんなが与えられた役をシチュエーションに合わせて素晴らしい演技力を発揮して楽しく学ぶことができました。

また普段携わることのない認知症の診療、検査の流れや現場での体験について聞くことが出来たほか、接するときの注意点や患者本人の気持ちなどを大変分かりやすく説明していただきました。薬理についての講義では副作用や抗菌薬など様々な基礎的な内容を聞けました。とくに腎機能と薬の処方についての内容が興味深かったです。

今までこのような内容をまとめて学べる講習会はあまりなかったので大変有意義な2日間を過ごすことができました。これからの業務に必ず活かしたいと思います。



### 佐潟 夏海会員 (兵庫県立丹波医療センター)

今回、ベッドサイド講習会に参加しました。看護師や臨床工学技士・薬剤師の方々の講義の中でも、特に勉強になったことは、人工呼吸器や輸液ポンプなどのベッドサイド機器についての講義と実技です。これまでベッドサイド機器について学ぶ機会がなく、検査時に輸液ポンプなどのアラームが鳴ると不安に感じていました。講習会では、機器の仕組みについての講義のあと実際の機器を用いて解説していただき、アラームの意味や緊急性、対処法について知ることができました。これからは何のアラームが鳴っていて、どう対処するべきか、今までより落ち着いて対応できるのではないかと思います。

そのほかにも患者移乗の実技では、移乗する練習だけでなく、車椅子やストレッチャーで移送される側の体験もでき、ゆっくり押しでも意外と速く感じることに、右左折や停止時には声掛けが大切だということを改めて感じました。

今後、この講習会で学んだことを実際の場面で活かしていきたいです。

## 血液検査新人研修会開催される (9月14日・15日)

血液部門新人研修会が、令和1年9月14日(土)、15日(日)の2日間神戸常盤大学にて開催されました。3連休の真っ只中ではありましたが、日常検査で血液検査を担当する熱意に溢れる会員38名が参加しました。

基礎から血液疾患の分類基準など幅広い内容の講義と、様々な症例の顕微鏡実習が行われ、参加した会員からは「自施設ではあまり遭遇しないような症例に触れることができた」などの感想があり有意義な2日間となりました。(文責：血液検査研究班)

### 片岡 智美会員 (北播磨総合医療センター)

血液検査に携わる上で必要とされる基礎的な内容から、血液疾患の診断で重要とされるWHO分類最新版における変更点など、充実した内容の2日間でした。講義をふまえての鏡検実習だったので非常に理解しやすく、普段感じていた疑問点などにもその場で答えていただき、大変有意義な経験となりました。患者様に適切な治療を提供する為にも、今回の研修で学んだことを業務に活かし、技師としてもレベルアップしていけるよう、これからも努めたいと思います。



## 2019年度 兵庫県臨床検査技師会リーダー育成研修会のご案内

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

少子高齢化により日本社会は大きな転換期を迎えており、この変革に対応できる人材の育成が求められています。その方向性を鑑み、組織リーダーとして活躍できる臨床検査技師の育成を目的として、MTS(創造的目標達成システム)による組織目標達成に向けた事業展開の考え方、プロジェクト成功に向けた現状分析、課題解決、計画立案などの手法の習得と、個々のマネジメントスキルの向上を図るための講習会を下記の通り開催致します。

つきましては、趣旨をご理解いただき、皆様奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

### 記

開催日時：2019年12月15日(日) 10:00～16:30

会 場：兵庫県臨床検査技師会 研修センター  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38(東洋ビル4F)

募集人員：20名(兵庫県臨床検査技師会会員であること。※兵臨技のみの会員は、兵臨技事務所までお問い合わせください)

※年齢は問わないが、臨床検査技師として中堅以上の経験を有するものが望ましい。

内 容：日臨技講演及びグループディスカッション(プログラム参照)

\*日臨技生涯教育点数：基礎20点

受講料：1,000円(当日受付にてお支払いください。昼食付き)

申込方法：日臨技会員専用サイトによる事前申込制

締 切 り：2019年11月29日(金)

問合せ先：公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 事務所

TEL：078-271-0255 FAX：078-271-0256

E-mail：info@hamt.or.jp

### 【プログラム】

10:00～ 受付

10:10～ オリエンテーション

10:25～ 開会挨拶 兵臨技会長

10:30～ 講義1(60分)

臨床検査技師の進むべき未来と次世代のリーダーに求めるもの

日臨技 副会長 横地 常広

11:30～ 休憩10分

11:40～ 講義2(45分)

日臨技および兵臨技の事業活動について

兵臨技 会 長 真田 浩一

12:25～ 昼食(ランチョンミーティング)

13:30～ グループワークについて(MTSとは)

兵臨技 理 事 渋谷 雪子

13:50～ グループワーク テーマについて現状分析、問題点抽出、対策立案

テーマ「兵臨技事業展開に伴う組織強化と活性化」

15:30～ 発表(質疑含め各10分×4グループ)

16:10～ 研修会の振り返り(各自1分×20名)

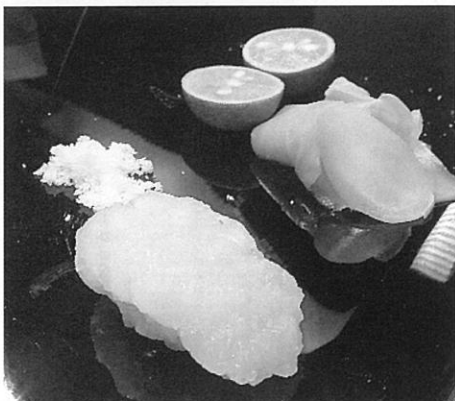
16:30～ 総評・閉会挨拶

兵臨技 副会長 松田 武史

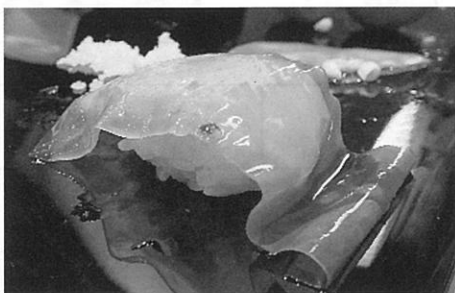


## 会員グルメ情報

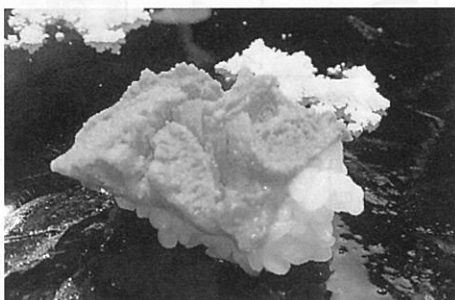
## 数珠つなぎ [33]



鰹



昆布締



雲丹



天麩羅の盛り合わせ

吉田 美帆会員 (神戸大学医学部附属病院)

33回目は、私の勤める神戸大学医学部附属病院の最寄りにある「日本料理・寿司 植月」さんを紹介したいと思います。

神大病院正面玄関の斜め前で「らぁめんたろう神大病院前店」の横にあります。高級感漂う門構えで、基本的には夜の営業が中心、カウンター7席とテーブル1席の小さなお店です。常時、25種類の瀬戸内海の近海魚を扱っており、とても新鮮でガリとともに“塩、すだち、醤油”を出してくれますが、“何もつけない”もしくは“塩”で頂くことをお勧めします。山葵も生山葵を使用時に擦りおろしており、香りもとても良いです。お寿司のオーダーはおまかせで、満足したところで最後に雲丹の握りを頂くという流れです。最後の雲丹は淡路島の幻の赤雲丹で、黄色みが強く独特な臭いも無くとろける様な味わいです。一人1万円くらいの予算で、自分へのご褒美としてのとっておきのお店です。

私も先輩から教えていただき、同僚と2人カウンターで満面の笑みを浮かべながら頂きました。お通しの穴子の有馬煮も山椒の香り高く、絶品でした。また、湯引きされた鰹ではなく、生の鰹や太刀魚の握り、昆布締めと、贅沢な寿司ネタを堪能しました。天麩羅も絶品です。高級なのでなかなか行けないのですが、不定期に1000円以下でランチを提供されているようですので看板さえでいれば迷わず入るべき名店です。是非一度、植月の寿司の世界に浸って頂ければ幸いです。

### <店舗情報>

店 名：日本料理・寿司 植月  
住 所：神戸市兵庫区荒田町3丁目41-16  
電話番号：(078) 511-5566  
営業時間：17：30～22：00 (L.O 21：30)  
定休日：月曜日

\*ランチ営業(11：30～13：30)は平日のみ不定期にされているそうです。



店の外観



店内の様子

# お知らせ

## 1 「看護フェア」 開催案内

開催日時：2019年11月16日(土) 10:00～15:30

会場：兵庫県看護協会会館

テーマ：「共に支えあう未来へ」

- 内容：1. 1日まちの保健室  
 1) 健康測定 2) 健康相談  
 2. 医療職5団体による測定  
 ①臨床検査技師会 ②理学療法士会 ③臨床工学技士会 ④歯科衛生士会  
 ⑤言語聴覚士会  
 3. 相談コーナー  
 1) 介護相談 2) 認知症相談  
 4. 減災コーナー  
 1) DVD上映 2) 神戸市避難所マップ揭示  
 3) 災害時非常食(いざという時の備え；栄養士会)  
 5. フレイル予防体操コーナー  
 +10分(プラス・テン)エクササイズ  
 6. 展示コーナー  
 1) 自助具の展示；作業療法士会 2) 介護用品展示

参加費：無料

## 2 令和元年度検査セミナー 開催案内

開催日時：2019年12月21日(土) 14:00～17:00

会場：兵庫県私学会館 大ホール

テーマ：“遺伝子で分類するがん”

- 内容：講演1. 免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害について  
 演者：廣田 勇士 先生  
 (神戸大学医学部附属病院 糖尿病内分泌内科 助教)  
 講演2. がんゲノム医療最前線-当院での取り組みの実際-  
 演者：松本 光史 先生  
 (兵庫県立がんセンター 腫瘍内科部長)

参加費：無料

## 求人情報

\*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

### ●医療法人 回生会 宝塚病院

交通：阪急「逆瀬川」下車 徒歩1分

採用条件：正社員(常勤)

業務内容：検査科業務全般(検体検査、生理検査、  
内視鏡補助等 経験不問)

問合せ先：0797-71-3111 (人事課 北)

### ●神戸医療生活協同組合 神戸協同病院

交通：JR「新長田、地下鉄「新長田」下車  
徒歩7分

採用条件：常勤職員 1名

業務内容：臨床検査業務全般

問合せ先：078-641-6211 (事務次長 中村)

### ●医療法人社団 すがの内科クリニック

交通：JR「ひめじ別所」下車 徒歩約10分

採用条件：パート(8:15～20:00までのシフト制)

週3-5日：午前診2-3回と

午後：1-2回程度(要相談)

業務内容：臨床検査全般(超音波検査の可能な  
方は優遇します)

問合せ先：079-252-7350 (担当 松野、菅野)

# 日臨技、コスト根拠に点数要望

## 次期改定 生理は6項目

日本臨床衛生検査技師会は、次期診療報酬改定の要望27項目をまとめ、このほど厚生労働省に提出した。超音波検査時に腹部などと同時に下肢動脈エコーをした場合でも算定できるように個別の点数を新設することや、関節液結晶鏡検定の点数新設、スパイログラフィー検査の増点を新規に盛り込んだ。また8つの項目では、全国数十から100施設程度の検査室に行ったコスト調査の結果をもとに実費相当額を求めており、血小板凝集能の検査は現行50点から2078点への大幅な引き上げ要望となった。



要望項目数は、前回の2018年度改定時の15項目から12項目増えた。前回2項目だった生理検査関連を6項目にし、輸血や感染症などでも新規要望を加えた。

超音波検査は、前回改定で「下肢血管」が新設された。下肢静脈血栓症の評価のため術前に腹部とともに施行される機会が増えているとされるが、複数の部位を検査しても現行ルールでは主たる検査のみしか算定できない。要望は、「(検査に)長時間を要し、高度な検査技術が必要であることから現行では適正な評価とは言い難い」とし、下肢血管超音波検査を個別に評価するよう求めた。

また、中医協では現在、高度な超音波検査の評価のあり方が論点の一つにあがっており、経食道心エコー3D法加算と乳房エラストグラフィ加算の新設要望も盛り込んだ。

生理検査ではほかに、スパイログラフィー等検査の増点、皮膚灌流圧測定(SPP)検査の増点と四肢切断レベル判定の加算新設、脊髄誘発電位測定等加算(術中モニタリング検査)の増点を新規に要望した。

### 振興協議会と連携しコスト調査

改定要望の検討にあたり日臨技は、臨床検査振興協議会の診療報酬

委員会と連携、採血料やグラム染色、細菌培養同定検査などの項目で全国のコスト調査を実施し、中央値を要望点数とした。

前回の改定時はいくつかの項目で特定の県の平均コストから要望点数を設定したが、調査対象を広げ中央値を用いることでより根拠のある要望とする狙い。診療報酬対策委員会の山本幸治委員長(三重県臨床検査技師会会長)は、「振興協議会と連携し調査対象施設が増えた」としている。

その結果、「血液採取(静脈)」は現行30点から50点への引き上げを求めた。129施設の調査結果から人件

費や試薬・消耗品費、装置費を含めた1検査あたりのコストの中央値を496円と算出した。

血小板凝集能は42施設の調査結果から中央値2万779円、不規則抗体検査は146施設への調査結果から中央値2109円、クロストリジウム・デフィシル抗原定性は137施設の調査結果から中央値1150円などと実費相当額を突き出し、それぞれの要望点数とした。

要望ではまた、前回に続き、病棟検査業務実働加算、在宅臨床検査迅速実施包括加算の新設を記載。国際標準検査管理加算の算定を検体検査管理加算1に認めることも求めた。

引用先：THE MEDICAL&TEST JOURNAL 2019年10月1日 第1479号

**FUJIFILM**  
Value from Innovation

全項目反応時間 10分 を実現  
免疫検査は新たなステージへ



**Accuraseed**

自動化学発光酵素免疫分析装置 Accuraseed

### 特長

- 全項目反応時間 10分
- サンプル量 10μL~35μL
- 最大 24 項目ランダムアクセス処理
- 処理能力 180 テスト / 時間
- モノテスト試薬

医療機器届出番号 27B3X00024000015

【製造販売元】

富士フイルム 和光純薬株式会社  
〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号

【問い合わせ先】

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター  
Tel: 03-3270-9134(ダイヤルイン)